

福井商工会議所青年部 会報

福居



会 報

第 38 号

昭和63年 9月 1日 発行

発 行 所

福井商工会議所青年部

発行者：永井弘明

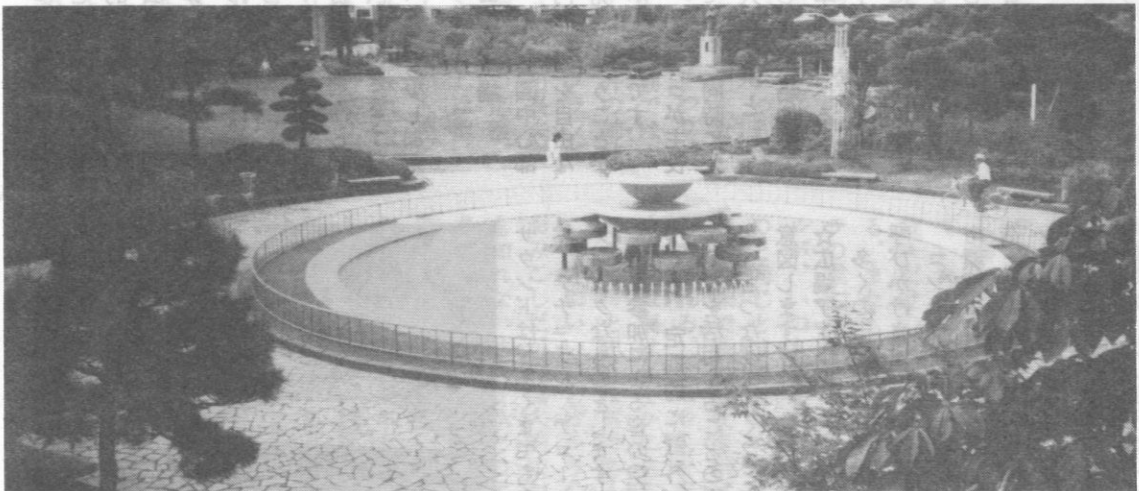
編集者：発坂卓雄

今年度、市民の広場はイベントで!!

秋色*ときめき*ハートランド

●と き 1988.10.29(土) 12:00~22:00
10.30(日) 10:00~18:00
(但、フリーマーケット朝市 8:00~)

●ところ 福井中央公園~県庁お堀全体
を包括したセントラルパーク



趣 旨

「市民の広場」事業は、福井商工会議所青年部の主要事業として、毎年定着化され足羽三山開発構想等福井の活性化、街づくりに向けて長期にわたり地道な活動を続けてまいりました。

来年市制百周年を迎える福井市において、「広場」に徹底してこだわり、一般市民へ広く開かれた、そしてその特性、個性を充分に発揮したイベントを今年展開することは、非常に大きな意義があると思います。

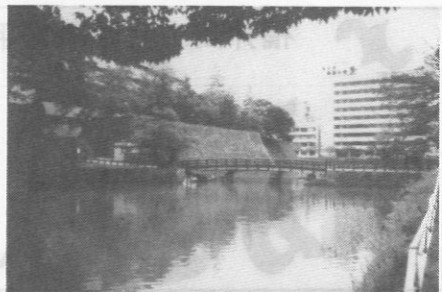
ねらい

*「福井の活性化」「地域イメージをいかに高めるか」についての独自のきりこみ

*「広場」を意識した自然空間の見直し、街づくりの推進

*地域文化の向上、F.U.K.U.Iの文化への新しい提案

*福井市民及び各種団体の参加を得て真のネットワークをはかる



・イベント内容 ☆福井再発見・

タイムトライアル

中央公園をスタート地点として、福井の名所（ポイントになる箇所）を親子ペアで散策し、福井の歴史、文化、自然（空気を）を体感してもらおうものです。

自分自身の身体全体で確かめる、（今まで知らなかった福井が見えてくる）チャレンジです。"広場"独自の再発見イラストマップ製作。

☆お堀りにゴムボート

目線の上下移動の極端に少ないといわれる福井市に

おいて、お堀の中になんらかの形で目線を移動させ、福井の都市空間を再発見、再構築、点検、路上観察してみようという企画です。

あえて、ゴムボートにこだわり、単純に、楽しく、お堀から福井を見る"お堀ツアー"で、福井の新しい価値を発見します。

☆フリーマーケット

☆ふれあいスクエア

中央公園の噴水を中心と



して、一つの円陣空間を創出することがポイントです。営業が目的ではなく、あくまで青空広場、空間を大切にしたい、そして従来のフリーマーケットとはちょっと違うオリジナルティ、パフォーマンス性を重視します。（越前料理の創作と試食をしていただきます。チャリティ要素も少し加えます。）

☆チビッコ体験広場

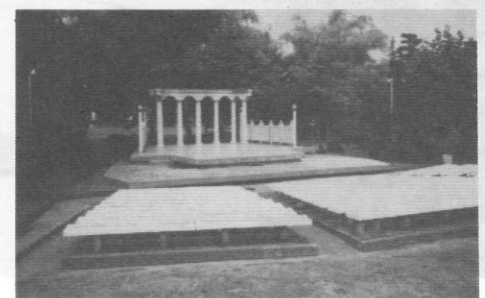
中央公園中心部

円形芝生を自由な発想で使うことがポイントです。

チビッコが主役であると同時に大人が子供といっしょに広場の中で、単純に遊べること、子供ごころを大切にしたいゲームや遊びの空間を創りたいです。

☆ハートランド・コンサート

中央公園野外ステージをメインに



サウンドは、あくまでも自然、ナチュラル、アコースティックなものとなります。

市民参加による音の空間づくり、定期的に野外ステージを活用することの提案へとつなげていくことも意図します。

☆広場アート展

多くの市民の参加を広く呼びかけます。

コンセプトは、周辺の都市環境に「ぶざれない」創造とアートの自由な空間を演出することです。インドアからアウトドア（広場）へのアートの開放です。

真夏の肖の

ストリートパフォーマンス

長い梅雨が明けた。

福井フェニックス祭りが開催されるのを待っていたように、もしかすると参加者の氣勢に恐れをなしたのか、長い長い梅雨が明けた。

いよいよ、祭りの開幕である。今年も例年通りメインの行事として「おみこし」、「民謡」が多数の参加を得て盛大に催された。

我々福井商工会議所青年部は昨年同様いりまでもなく「商工みこし」に参加した。まさに夏一色、三〇度を越える猛暑の中スタートを待ちかねたおみこし隊は、六時三〇分持っている力を空に向けて突き上げた。いつものことながら参加したおみこしは、すばらしい出来で、作った人達の技術力や秀逸した発想に、ただただ感心するばかりである。



おみこしの参加者は単なる目立ちたがり屋ではないと実感した。これから一時間半は我々が駅前メインストリートに占拠し、個々のパフォーマンスを思いきりアピールするためにある。あちこちでいろいろな声がある。「ワッショイ、ワッショイ」「セイヤ、セイヤ」、太鼓、音楽、光、いつもは福井で見る事が出来ないような人の顔でまわりが

いっばいになる。前では大武福井市長と、福井の姉妹都市であるニューブランズウィック市のリンチ市長夫妻がうちわを振っての応援。動き出したおみこしは担いでいる人の上でその人達によって命を吹き込まれる。もう止まらない。押さえ役が懸命に止めているが勢いに負けている。いやがおうにも盛り上がった雰囲気にも担ぎ手も我を忘れておみこしの中に溶け込んでいく。担ぎ終わった後、参加者全員に心地よい疲労感が残る。「もっと担ぎたい。」「も

う動けない。」「風呂に入りたい。」などなど感想はさまざまだがひとつのことをやり遂げた満足感はおみこし参加者全員への、見物していた人には与えられない我々だけのプレゼントである。またもうひとつカラカラの喉に流し込まれたビールが、いつも飲んでいられるのと同じとは思えない最高の味で疲れを吹き飛ばしてくれる。おみこしを担ぐ本意は実はビールにあるのかも、と思うほどである。本当にいいことばかりのおみこしだが、個人的にも知れないけれどひとつ欠点がある。それは翌日の筋肉痛。普段動かさないせいか階段の上り下りにも顔をしかめてしまう。残念だが年を感じる一瞬である。

“水まわり” といっても住まいと暮らしに対する考え方によって、その空間のイメージはさまざま、それぞれの目的と用途に合った適切な商品を選ぶ必要があります。

色・デザイン・機能で快適な
水まわり空間づくりをお手伝いします。

(有)三栄技研

代表取締役 竹越 治美
福井市江守中町 8-10-7
☎ 35-5506 FAX 35-1090

ハイ・クオリティな空間を創造し、QCDSを追求します

- 本格木造耐雪住宅
- セキュリティ住宅
- 鉄骨鉄筋耐雪住宅
- 外壁通気構法住宅
- ファッション住宅

Quality — 高品質
Cost — 低コスト
Delivery — 耐久
Safety — 安全

建築・不動産の総合プランナー

大須賀建設株式会社

本社/福井市花堂東1-4-4 TEL 35-8818(代) FAX 36-7341
分室/福井市板垣5-1015 TEL 35-0092(代)

建設業(特)594
宅地建物取引業567
一級建築士事務所 い-629

リレー随筆

「国際化」

熊谷 康心

国際化という言葉は昨年の新聞用語頻度ナンバーワンだそう。夜の片町のホステスだけでなく、最近では都会の建築現場作業員や清掃作業員として、特にアジアから外国人労働者が入ってきているらしい。

もちろん、この円高だから、雇う方も雇われる方も賃金の面では双方の利益になる。いずれ外国人が日本で容易に働けるようになるのかもしれない。

しかし、外国人が日本で働くとなると、その社会保障、医療等の負担、教育や居住の問題があり、社会の各層で本当の意味の差別問題が生じてくるのだろう。日本の戦後の経済力は、高い教育程度をほこる、主流意識の浸透した、勤勉で

均質な労働力に負うところが大きいと言われるが、この国民性も根本的変化を強いられるにちがいない。

今アメリカやヨーロッパの他の先進諸国が直面している、移民と外国人労働者の問題はまさにこの点にある。

子供達の間で「バイキン」と呼び合い、いじめたりいじめられたりして育ち毎朝のシャンプーを欠かさない現代の若者諸君が就職するにあたり、社会のダイティな仕事を選ぶはずもない。親だって、そのような仕事は本当は大切なんだと教えるようなことはしないだろうから、日本からそのような職場が外国人に奪われてしまうことは確実である。

「ローマ帝国はパンとサーカスで亡んだ。」日本人に勤労精神を植付けないと、日本人は亡んでしまうという論文『日本の自殺』が文春に載ったのは今から十年以上前のこと。先日亡

くなった土光さんの行政改革哲学となったことは広く知られている。

あと二十五年程で日本の老人の数が今の倍になり、若者諸君のなんと、わずかな三人が一人の老人を負担するはめになるらしい。

地球人の三割に満たない日本人が世界のGNPの一割を占めているのだから、外国から狙われるのは当然。そのお金の大部分が地球上の地面のわずか〇・三%しかない日本の土地に投資され、住む所がない日本人、こんな日本に執着するのがおかしいのかもしれない、もっと他に住みやすい、もっと豊かに生活できる場所があってもよさそうだと思う。

日本人が滅亡する前になんとか日本脱出を試みたい。次は天野吉壹さんにお願います。



ひと味違う例会をめぐって

例会企画委員長 阿部 宏治

青年部活動の基本である例会の企画運営を担当させて頂く様になって三ヶ月。マンネリ化しがちな例会を魅力あるものにした。新しい会員の方にもすぐなじめる、親しめるものにした。しかもちょっぴりタメになる例会にしたい。

- ① スピーディー(短時間に濃密度で)
 - ② シンプル(誰にでも分かりやすく)
 - ③ テンポ(単調にならず、マンネリ化しないように)
- なお、毎回の時間割は次のように予定しています。

- 六・三〇 食事・ビデオ研修
- 七・〇〇 例会開会
- 七・三〇 卓話又はビデオ
- 八・三〇 委員会報告・懇親会・その他

DRY SWEET 辛口・甘口 「清涼剤」

木林 康仁

福井大学非常勤講師

最近の〇〇情報化、〇〇活性化の連呼には本当に辟易させられる。われこそは名水先案内人だとばかりに客引きまがいの連中が、歯の浮くような意味不明のカタカナ言葉を連射してくるまではなんとかガマンしてきたが、(笑のところ不愉快そのものだった)今では彼らも利口になり、タダでは有り難味が出ないことを悟り、靈感商法に倣って堂々と御布施を要求するに至ってはもうあきれ果て…。

同じ客引きでもストリップ小屋のお兄さんの方が余程良徳商法(?)。彼らが売りつけるものは確かな実態があり(本当に最近では内容が良い)、時には後始末の方まで心配してくれる(?)。本当にありがたい

話だが、これにも事後の空しさという厄介な問題が付きまとうから世の中ままたらん。

そんなこんなで近頃〇〇シンポなど見向きもせず、近くの屋台にへばり付き生酒あおって千鳥足。前後不覚の時に流れて胸焼けで目が醒めれば、見覚えのあるフトンの中。とたんに不吉な予感がよぎり振り向くと、あまりにも現実的すぎる肉片が傍に……。あゝあ、今夜もまた夢の逃避行失敗!でも諦めるのはまだ早い。枕元の一升ビンを引き寄せコップにドックンドックン注げば準備万端。後はこの一冊をひもとけば明けの明星めざしていざ出発!

夏の夜の清涼剤に宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」をおすすめします。特に、短編「虔十公園林」の主人公のような人こそ今最も必要です。

行く先のわからない競争への不安を抱きながら取り

残されることへの恐怖心からカンフル剤を打ち走りつづける孤独なランナーの群れ、彼らがこのレースで手に入れられる代償は、万歩計が記録する数値と、肉体の苦痛を緩げるために分泌されるアドレナリンによる幻覚的快感のみである。

変化への条件反射とソロバン勘定のみが求められる目的喪失社会は何に向かつて進軍ラッパを鳴らし続けるのか?

三步遅れて歩む勇氣こそ今の福井に最も必要なこと

翔生ゴルフクラブ ・レポート

幹事 木林 康仁

さる六月三十日に第十回翔生ゴルフコンペが芦原海コースで開催された。当日は雨にもかかわらず十五名の会員が参加され、日頃の練習(?)の成果を競い合った。

成績報告 優勝 木村茂生 N74、H36

ではないだろうか。遅れるとは、「より本質を問いつつ時を持つこと」の意においてである。

みなさんよろしく

— 新入会員プロフィール —

竹下 英二郎
昭和三七年九月二〇日生
銚竹下印刷所
福井市手寄一丁目
一五二七

電話 二四二二二二
FAX 二七〇四五五
2位 津田信夫 N75、H15
3位 五十嵐長 N79、H22
次回コンペは八月二十四日に国際カントリークラブで開催予定なので奮って御参加ください。

あおい商事株式会社
電話二二一八二〇〇
藤本 雅雄
半年会費 五千元
当日会費 三千元
プレー代 本人負担

お贈りください。大切な方に—
日本海の荒波に育まれた味…。

夏
天たっ
福井市順化二丁目七一七
〒910-0075 (075) 22-1679

こんな場合に鑑定評価がお役に立ちます

- 財産相続・不動産の売買又は交換・不動産担保(提供又は徴求)・共同ビル等の権利調整などで土地・建物の適正な価格を知りたいとき。
- 貸ビルやマンションの家賃決定・地代や家賃の改訂などで適正な地代・家賃を知りたいとき。

不動産鑑定士林逸男事務所
所長 林 逸 男 ☎27-2595(代)
福井市大願寺2丁目9番1号(福井開発ビル6階)

企業訪問

和洋菓子製造販売

（南）なかむら製菓

所在地

福井市文京二丁目八一八

電話 二四一五五〇八

「今回は我青年部で最年少
会員の中村佳一君のお店に
伺いました。」

「きれいなお店ですが、お
店はいつ頃からですか？」

「店は八年目ですが、三
年前に今の店に改築したば
かりなんです。」

「品数も相当あるようです
ね。」

「父と二人で作りますか
ら、その割には品数は多い
と思います。でも幅広い客
層の方に来ていたどころと
思うと、和洋菓子・焼菓子
・生物と何でも揃えておく
必要がありますからまだま
だ品数は増やしたいです。
それにゆくゆくは喫茶をし
て、本格的なデザート菓子
なんかも出していけるとい
いなと思っています。」

「最近はどういうお菓子が

売れていますか？」

「そうですね、もともと

日本人は水気が多く口溶け
のいい物が好まれるようで
す。福井の人は特にそうい
う傾向があるようですが、

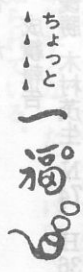
最近はずっとそういう傾向が
強く、ババロアやゼリー、
それにスポンジでもシロッ
プやお酒もたっぷり浸み込
ました物が喜ばれますね。

現代人は噛む力が弱ってい
るといふ話も、これを見て
ると分かるような気がしま
す。」

「今後の商売の目標なんか
はどうですか。」

「目標というよりも、現
代は物のあふれた時代です
し、その上お菓子というの
は嗜好品であって必需品で
はありませんから、とにかく
く見ても、食べても、それ
から贈っても、価値のある
物を作っていきたいという
のが、第一に心掛けたい事
ですね。」

お菓子のことを話すと、
まだまだ続きそうですが、
今回はこのへんで。



真に役立つ「情報」とは

情報化社会と呼ばれて久
しい。事実、われわれの周
囲にはさまざまな情報が溢
れていて、一見すると、必
要な情報はいくらでも手に
入るように見える。しかし
情報が氾濫すればするほど、
本場に役立つ情報の入手は
ますます難しくなっている
のではないだろうか。

人より早く生情報を入力、
取捨選択、分析し次なる行
動を起こすことができれば、
この厳しい経済社会を勝ち
残ることができるだろうか。

最近の愛煙家はたいへん
肩身が狭いけれど、たばこ
がまだ貴重な時代、たばこ
を吸うときには相手にも勤
めるのがひとつのエチケット
だった。嫌煙の時代、カ
ナダでは「たばこを吸わな

い世代づくり」に取り組ん
でいるという。煙草という
悪魔の贈り物に、日本的な
文化の「寛容」に甘んじ続
けるか、否か、国際化の波
の中で一つの選択を迫られ
ているといえるだろう。

子どもにもストレス病
大人のストレス性の病氣
とされている胃カイヤウ、
十二指腸カイヤウが子ども
にめだつてふえ、しかも低
年齢化が進んでいることが、
日本小児外科学会で発表さ
れた。子どもたちに、こう
した症例がめだちはじめた
のは約十年前から。近ごろ
は十歳以下の子どもにふえ
ているという。

注目されるのは発生原因
母親が子どもにかまってや
れなくなったら発生した、
塾をやめたらピタリと治っ
たなどのケースが報告され
た。原因を特定できないこ
とも多いが、子どもたちの
生活環境が悪化しているこ
とは確かなようだ。

たばこの話

最近の愛煙家はたいへん
肩身が狭いけれど、たばこ
がまだ貴重な時代、たばこ
を吸うときには相手にも勤
めるのがひとつのエチケット
だった。嫌煙の時代、カ
ナダでは「たばこを吸わな

有限会社 鎌田タイル技工

青年部会員 鎌田博幸

福井市文京1丁目1番11号 TEL 23-6008